

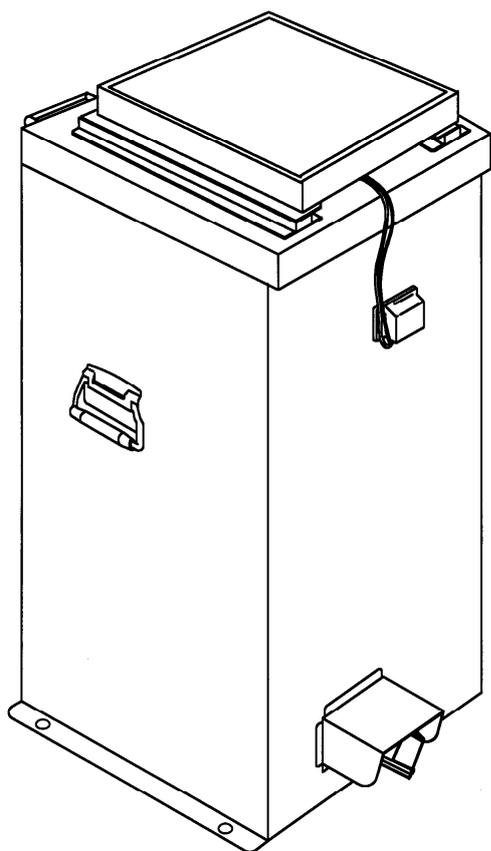
# DAINICHI



## 取扱説明書

ソーラー発電式自動給餌機

CB - 601



### もくじ

#### ご使用前

- △安全のために必ずお守りください・・・1～2
- 各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・・・・・3～4
- 使用前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～7

#### 使用方法

- 現在時刻の合わせかた・・・・・・・・・・・・7
- 手動運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- タイマー運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～9

#### 点検・その他

- 点検・手入れのしかた・・・・・・・・・・・・10
- 保管のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 異常のお知らせと処置方法・・・・・・・・11
- アフターサービス・・・・・・・・・・・・・・12
- 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

このたびは、ソーラー発電式自動給餌機をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
お使いになる前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しくお使いください。  
取扱説明書はご使用になる人がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に保管してください。  
同梱の「ご愛用者登録カード」は必ずご投函ください。

# 安全のために必ずお守りください

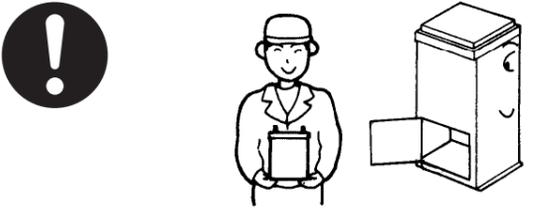
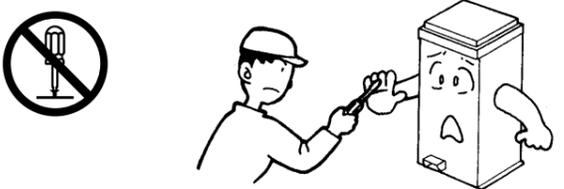
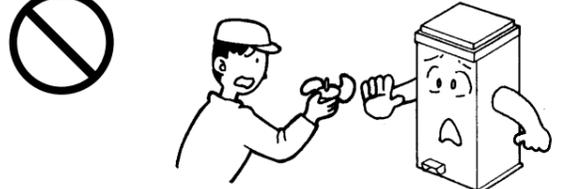
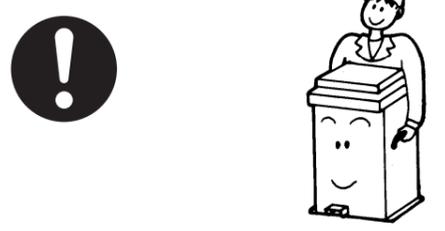
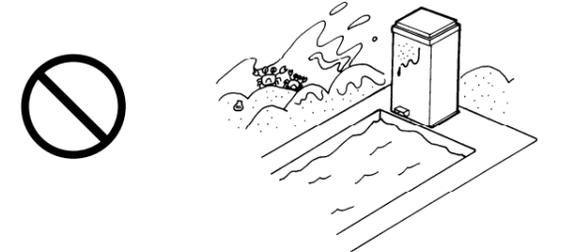
この取扱説明書にある項目は、危険の程度を表しています。

マーク	危険の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が考えられる場合、また物的損害のみの発生が考えられる場合

本文中のマークは、次の意味を表しています。  
(マークの中や周辺に具体的な内容が書かれています)

	絶対に行ってはいけないこと		回転物に注意してください
	絶対に分解修理・改造はしないでください		指を挟まれないよう注意してください
	必ず指示に従ってください		

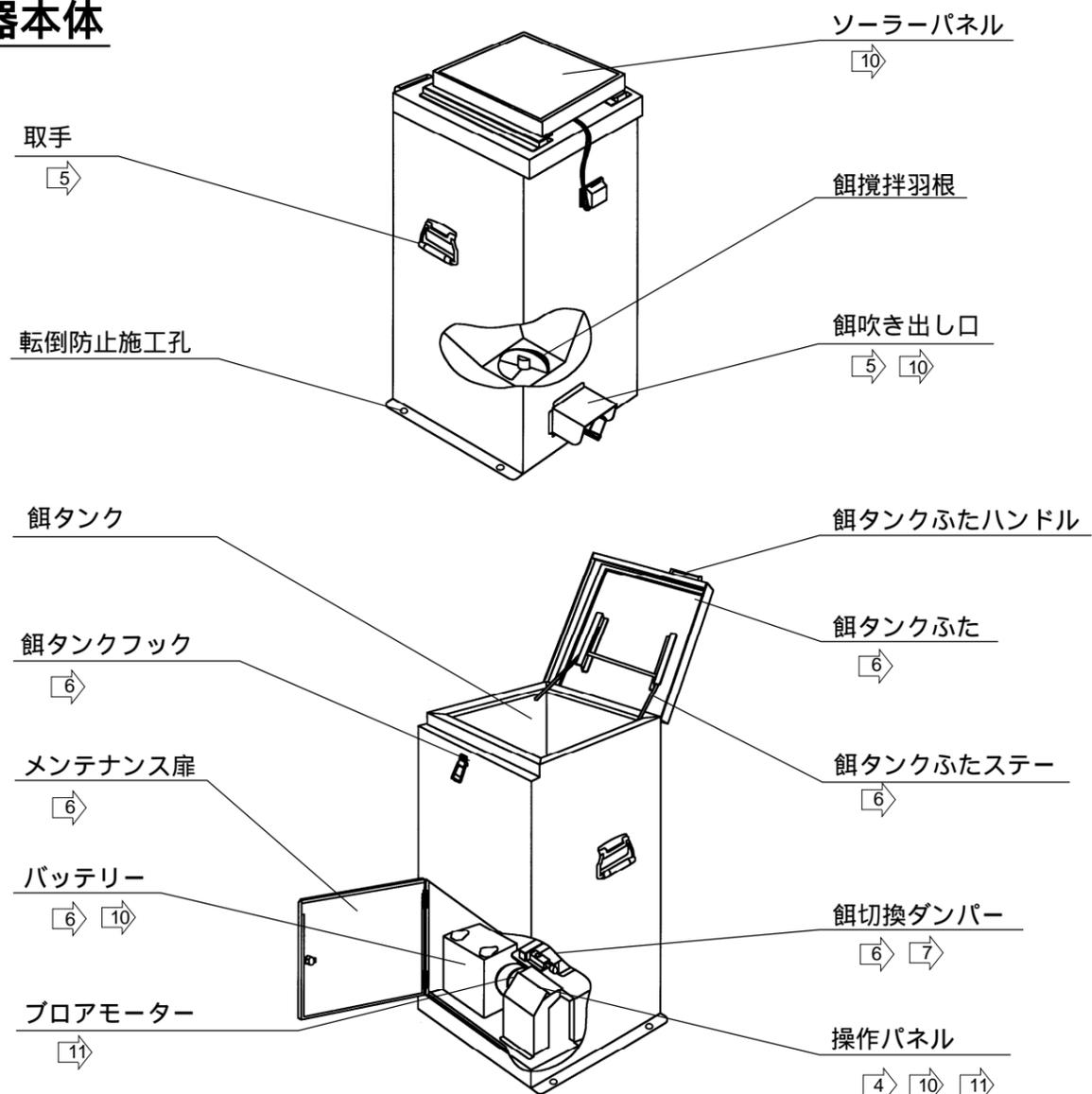
⚠ 注意	
<p><b>設置確認</b> 機器が確実に固定されているか確認してください。不安定な場所に設置すると機器が転倒し、バッテリー内の化学薬品が漏れるなどして、予想しない事故が発生するおそれがあります。</p> 	<p><b>回転物注意</b> 運転中、餌攪拌羽根は回っています。絶対に指などを入れないでください。けがをするおそれがあります。</p> 
<p><b>指を挟まないよう注意</b> 餌タンクふたを閉めるときは指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。</p> 	<p><b>餌吹き出し口閉そく厳禁</b> 餌吹き出し口が詰まっていたり、ふさがれていないことを確認してください。閉そくしていると、性能を発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となります。</p> 

⚠ 注意	
<p><b>バッテリーの取扱いに注意</b> 機器を移動するときは、バッテリーをはずして移動してください。バッテリー内の化学薬品が漏れ、予想しない事故が発生するおそれがあります。</p> 	<p><b>異常時使用禁止</b> 異常を感じたときは使用しないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。</p> 
<p><b>分解修理・改造の禁止</b> 故障・破損したときは使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。</p> 	<p><b>ソーラーパネルの取扱いに注意</b> ソーラーパネルのほこり・ごみは拭き取ってください。性能を発揮できなくなるおそれがあります。また、ソーラーパネルの上に物を置かないでください。破損の原因になります。</p> 
<p><b>指定部品以外使用禁止</b> 指定以外の部品を使用しないでください。性能を発揮できなくなるばかりでなく、予想しない事故の原因となります。</p> 	<p><b>保管時にしていただくこと</b> 長期間使用しないときや保管するときは、必ず餌を取り除き、バッテリーをはずしてください。予想しない事故の原因となります。</p> 
<p><b>取手をもって移動</b> 機器を移動するときは取手を持って移動してください。タンクふたハンドルなどを持つと、機器の破損ばかりでなく、予想しない事故の原因となります。</p> 	<p><b>設置場所に注意</b> 塩害の著しい場所では使用しないでください。機器の損傷ばかりでなく、予想しない事故の原因となります。</p> 

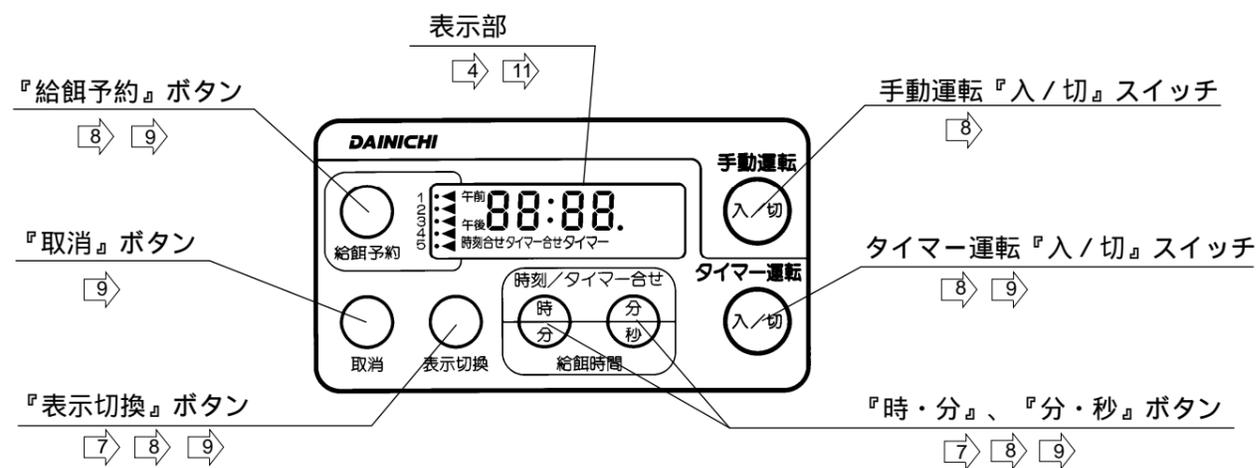
# 各部のなまえ

このマークの中の数字は詳しい説明のあるページです

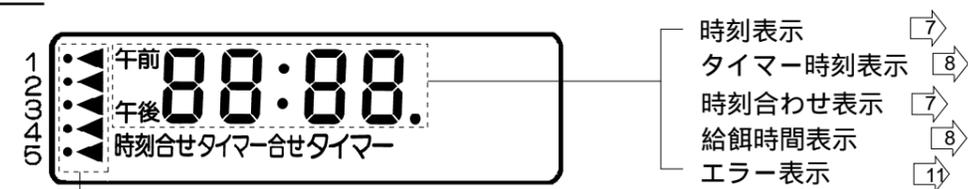
## 機器本体



## 操作パネル



## 表示部

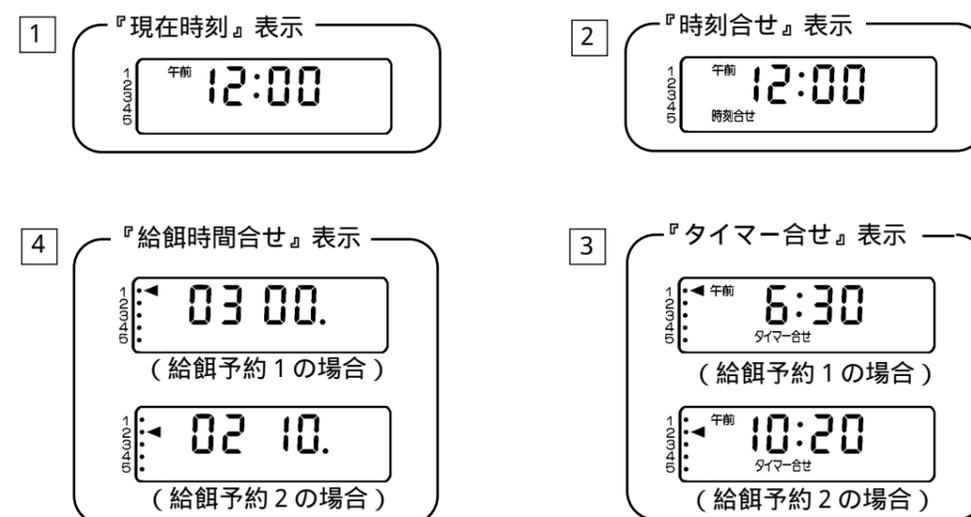


このイラストは説明のため全部表示した状態です。使用上、全部表示されることはありません。

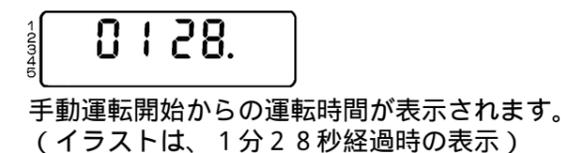
## 表示部の説明

(運転停止中)

表示部は〔表示切換〕ボタンを1回押すごとに、1～4の順に切り換わります。



(手動運転中)



(タイマー待機中、運転中)



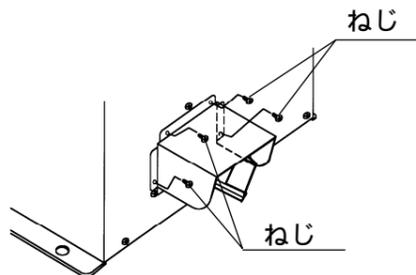
(エラー表示)



# 使用前の準備

## 【1】餌吹き出し口を取り付ける

- ・本体のねじ（4本）をはずし、同梱の吹き出し口を取り付ける。



## 【2】機器を設置する

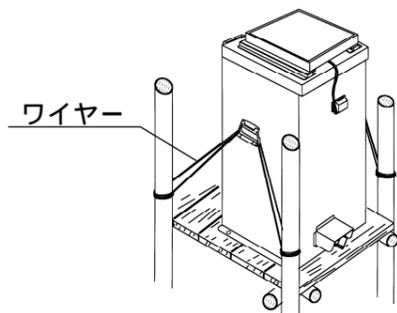
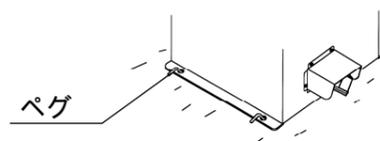
- ・機器は水平な場所に設置し、転倒防止処置を確実に行ってください。

### 【転倒防止処置のしかた】

機器には2つの方法で転倒防止処置が行えます。設置状況、場所により適切な処置を行ってください。

ペグ、アンカーボルト（8mm）による固定

ワイヤーなどによる固定

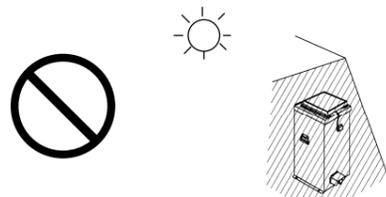


お守りください

次の場所には設置しないでください。

- ・直射日光のあたりにくい場所

- ・不安定な場所、転倒防止処置を行えない場所



## 【3】吹き出し口パイプを取り付ける

（ホームセンターなどでお買い求めください）

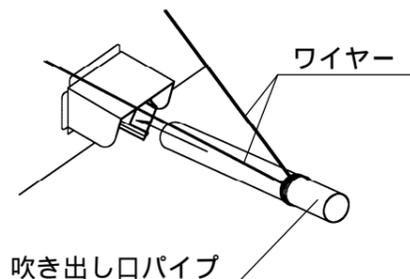
パイプはなくてもご使用になれます。使用場所に応じて取り付けてください。

吹き出し口パイプは、奥まで確実に差し込む。

パイプは

- ・品名 タテドイ（塩ビパイプ）直径 55mm
- ・長さ 0～（最長）1.35m（使用場所に応じて）

吹き出し口パイプを、ワイヤーなどで固定する。



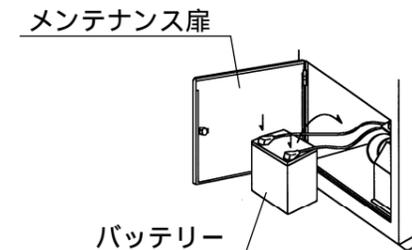
## 【4】バッテリーを接続する

メンテナンス扉を開ける。

+（プラス：赤）電極を接続する。

-（マイナス：黒）電極を接続する。

バッテリーを機器に入れる。



指定バッテリー	38B19L	または	38B19R
	40B19L		40B19R

お守りください

- ・バッテリーは指定のものをご使用ください。指定以外のバッテリーを使用すると、性能を発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となります。
- ・シーズン初めなど、機器を長期間使用していなかったときは、バッテリーを充電してから使用してください。

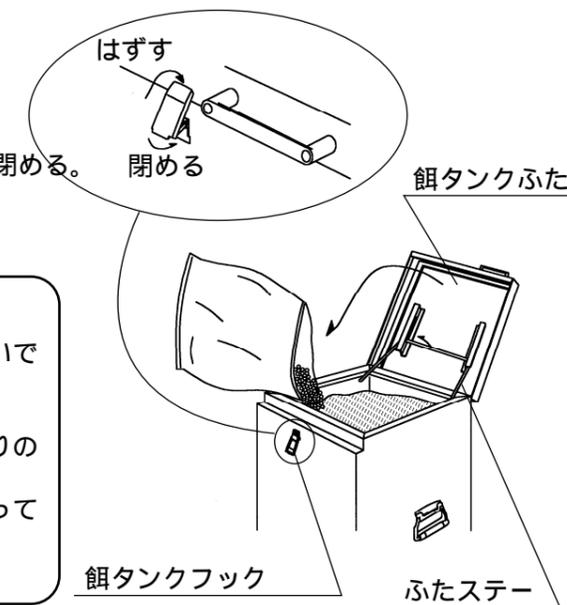
## 【5】餌を入れる

餌タンクフックをはずし、餌タンクふたを開ける。

餌を入れる。

ふたステーを手前に引き、ゆっくりと餌タンクふたを閉める。

餌タンクフックを確実に閉める。



お守りください

- ・餌は乾燥粒状餌のみを使用してください。
- ・餌タンクには、20kg（1袋）を超える量の餌を入れないでください。餌を入れ過ぎると故障の原因となります。
- ・餌タンクフックは確実に閉めてください。餌タンクフックを閉めていないと、水が入り餌つまりの原因となります。
- ・雨が降っているときや、餌タンクふた上に水がたまっているときは、注意してください。水が入り、餌つまりの原因となります。

## 【6】餌切換ダンパーの設定

餌の大きさにより、餌切換ダンパーを 全開/半開 に切り換えてください。

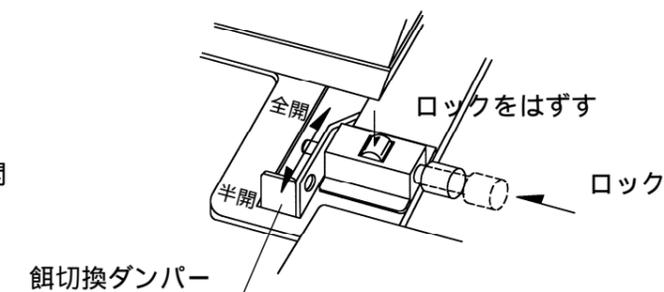
### 1. ダンパーの切換かた

メンテナンス扉を開ける。

餌切換ダンパーのロックをはずす。

餌切換ダンパーを切り換える。 全開/半開

餌切換ダンパーのロックをする。



## 2. 餌の種類とダンパーの大きさ

餌の種類	ダンパーの設定	1分あたりの給餌量
浮き餌大玉 (L : 9 mm)	全開	400 g / 分 ( 990 cc / 分 )
浮き餌中玉 (M : 6 mm)	全開	480 g / 分 ( 1,400 cc / 分 )
Mより小さな餌 ( 2.4mm ) 例 : ペレット ( P - 5 )	半開	500 g / 分 ( 740 cc / 分 )

— お守りください —

- ・ダンパーの大きさは餌の種類により定められたダンパー設定で使用してください。餌つまりの原因やバッテリー上がりの原因となります。
- ・1分あたりの給餌量はあくまでも目安です。手動運転にて給餌量を確認した上、給餌量を設定してください。
- ・大きさの異なる餌を混合して使用するときは、最小の餌の大きさにあわせてダンパー設定を行ってください。餌つまりの原因となります。

## 【5】試運転

使用方法【運転のしかた】の「手動運転のしかた」に従い、餌が正常に吹き出されることを確認してください。

# 使用方法

## 【現在時刻の合わせかた】

(例) 午前 8:30 に合わせる場合

『表示切換』ボタンを押し、〔時刻合せ〕表示にする。  
(時刻合せ点滅)



『時/分』、『分/秒』ボタンを押し、時刻を合わせる。  
『時/分』ボタンで 午前 8時に合わせる。  
『分/秒』ボタンで 30分に合わせる。



ボタンを押しつづけると早送りができます。  
午前・午後を間違わないよう注意してください。

『表示切換』ボタンを押し、〔時計〕表示にする。



## 【運転のしかた】

「手動運転」と「タイマー運転」の2通りを行えます。

### 「手動運転のしかた」

給餌量の確認の際にお使いください。

#### 1. 運転開始

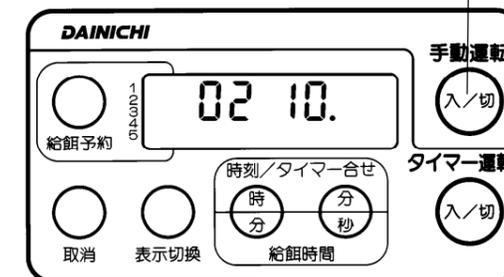
手動運転『入/切』スイッチを押す。  
運転開始からの時間が表示されます。

手動運転は最長30分で自動停止します。

#### 2. 運転停止

手動運転『入/切』スイッチを押す。

手動運転『入/切』スイッチ



( 2分10秒経過時の表示 )

— メモ —

- ・タイマー運転中は、手動運転は行えません。タイマー運転を「切」にしてから行ってください。

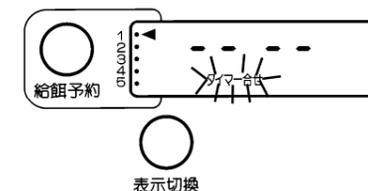
### 「タイマー運転のしかた」

#### 1. タイマー予約時刻の合わせかた

(例) 予約 1 午前 6:30 に 1分30秒 運転  
予約 2 午前 10:20 に 2分20秒 運転 の場合

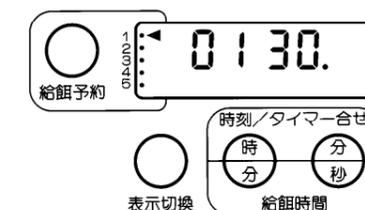
#### タイマー予約時刻を合わせる

- 『表示切換』ボタンを押し、〔タイマー合せ〕表示にする。  
(タイマー合せ点滅)
- 給餌予約1であることを確認する。  
給餌予約1でなければ、『給餌予約』ボタンを押し、1に合わせる。
- 『時/分』、『分/秒』ボタンで設定時刻を合わせる。  
『時/分』ボタンで 午前 6時に合わせる。  
『分/秒』ボタンで 30分に合わせる。
- 『給餌予約』ボタンを押し、給餌予約2に合わせる。
- 『時/分』、『分/秒』ボタンで設定時刻を合わせる。  
『時/分』ボタンで 午前 10時に合わせる。  
『分/秒』ボタンで 20分に合わせる。
- 給餌予約 3 ~ 5回を合わせるときは、4)、5)を繰り返してください。



#### 給餌時間を合わせる

- 『表示切換』ボタンを押し、〔給餌時間合せ〕表示にする。
- 給餌予約1であることを確認する。  
給餌予約1でなければ、『給餌予約』ボタンを押し、1に合わせる。
- 『時/分』、『分/秒』ボタンで設定時刻を合わせる。  
『時/分』ボタンで 1分に合わせる。  
『分/秒』ボタンで 30秒に合わせる。



# 点検・手入れのしかた

- 4) 『給餌予約』ボタンを押し、給餌予約2に合わせる。
- 5) 『時/分』、『分/秒』ボタンで設定時刻を合わせる。  
『時/分』ボタンで 2分に合わせる。  
『分/秒』ボタンで 20秒に合わせる。



- 6) 給餌予約 3～5を合わせるときは、4)、5)を繰り返してください。

『表示切換』ボタンを押し、〔現在時刻〕表示にもどす。

## 2. タイマー運転の開始

- ・現在時刻が合わせてあることを確認し、タイマー運転 『入/切』スイッチを押す。  
(現在時刻を合わせていないと、タイマー運転は行えません)

### 便利な機能

- 1, タイマー運転 『入/切』スイッチを押すと、予約内容が表示され確認ができます



給餌予約3～5をセットした場合、  
が繰り返され表示されます



- 2, タイマー運転待ち中の表示

セットされた給餌予約が表示されます。  
(給餌予約1、2をセットした場合)



## 3. タイマー運転の停止

- ・タイマー運転 『入/切』スイッチを押す。

## 4. タイマー予約設定の取り消し

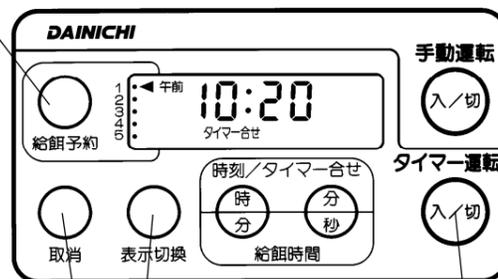
『表示切換』ボタンを押し、〔タイマー合せ〕または〔給餌時間合せ〕表示にする。

『給餌予約』ボタンにより、取り消す給餌予約に合わせる。  
給餌予約にあった内容のみ取り消されます。

『取消』ボタンを押す。  
表示により、取り消される内容は次のようになります。

表示	取り消す内容	タイマー設定時間	給餌時間設定
〔タイマー合せ〕表示		取り消し	取り消し
〔給餌時間合せ〕表示		そのまま	取り消し

『給餌予約』ボタン



『表示切換』ボタン

『取消』ボタン

タイマー運転 『入/切』ボタン

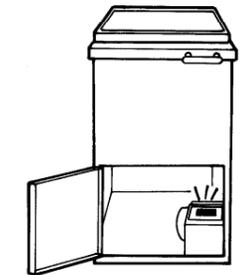
定期的に次の点検・手入れを行ってください。

(餌補給のたびに)

- ・ソーラーパネルのごみやほこりを拭き取る



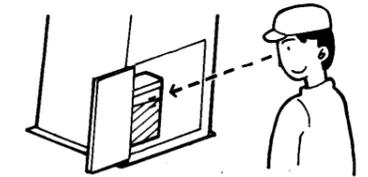
- ・エラー表示をしていないか  
エラー表示しているときは1ページの処置方法に従ってください。



お守りください

- ・ソーラーパネルは、柔らかい布またはスポンジに水を少し付け、表面を掃除してください。また、木の葉・鳥の糞などが付着した場合は、速やかに取り除いてください。
- ・ソーラーパネルを掃除するときは、水の使用は最小限にし、水中または液中に浸漬、洗い流すようなことはしないでください。
- ・薬品類は使用しないでください。

- ・バッテリーのインジケータの表示は"良好"か  
(バッテリーの説明書をお読みください)



# 保管のしかた (長期間使用しないとき)

- ・長期間使用しないときは、次の手順に従って機器を保管してください。

餌を抜き取る。

- ・餌タンクふたを開け、餌を取り出す
- ・少量であれば、手動運転にて餌を放出してください

バッテリーをはずす。

餌吹き出し口に餌がたまっていないか確認する。  
餌がたまっている場合は、取り除いてください。

機器本体の汚れをきれいに拭き取る。

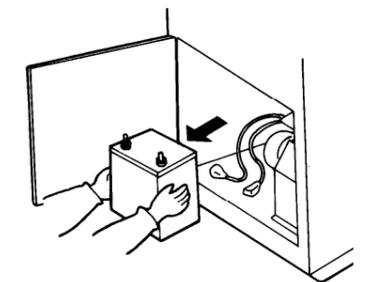
湿気の少ない場所に保管する。

メモ

シーズン初めはバッテリーを充電してから使用してください。

お守りください

バッテリーは横倒しの状態で保管しないでください。  
バッテリー内の液漏れにより、予想しない事故の原因となります。



# 異常のお知らせと処置方法

## 【修理を依頼する前に】

次の症状は故障ではありません。修理を依頼する前に一度ご確認ください。

症 状	原 因	処 置 方 法
タイマー運転を開始しない	タイマーがセットされていない	タイマーのセット方法を確認し、再セットする
表示が消えている	バッテリーの接続が不十分	バッテリーに端子を正しくセットする
	バッテリーの+, - を間違えている	
運転停止中にプロアモーターが動いている	機内の温度を下げるためです	故障ではありません (機内の温度が下がれば、自動的に停止します)

## 【異常の原因と処置のしかた】

何らかの原因で次のようなエラー表示や症状が現れたときは、適切な処置を行ってください。

表 示 部	原 因	処 置 方 法
E 0 1	攪拌モーターがロックしている	餌攪拌羽根に異物が挟まっていないか確認し、異物を取り除いた後、『取消』ボタンを押し、エラーを解除する。
E 0 2	バッテリーがあがっている (バッテリー過放電)	バッテリーを充電するか、交換する。
E 0 3	プロアモーターがロックしている	アフターサービスご相談窓口または弊社営業所にご相談ください。
F 0 8 ~ F 0 F	修理・点検が必要な故障です	アフターサービスご相談窓口または弊社営業所にご相談ください。

症 状	原 因	処 置 方 法
餌が出ない	餌が入っていない	餌を補給する。
	餌がつまっている	餌を取り除き、新しいものと交換する。
	プロアモーターが目つまりしている	アフターサービスご相談窓口または弊社営業所にご相談ください。

— お守りください —

・処置を行っても直らないときや、繰り返し症状が発生するとき、上記以外の症状が発生したときは、故障が考えられますので、アフターサービスご相談窓口または弊社営業所にご相談ください。故障したまま使用しつづけると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

# アフターサービス

## 【アフターサービスの依頼】

・点検・修理が必要になった場合は、アフターサービスご相談窓口または弊社営業所にご相談ください。

## 【保証について】

### 保証書

・販売店にて必要事項を記入の上お渡します。記入内容をお確かめになり、大切に保管してください。

### 保証期間

・保証期間は1年間です。修理の際は保証書をご提示ください。なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

### 保証期間経過後は

・アフターサービスご相談窓口または弊社営業所にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理致します。

## 【補修用性能部品について】

・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。  
・本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。  
この期間は通商産業省の指導によるものです。

# 仕様

型 名	C B - 6 0 1
定 格 電 圧	D C 1 2 V
質 量	2 4 . 0 k g ( バッテリーを含まず )
外 形 寸 法 (mm)	( 高 ) 860 × ( 幅 ) 410 × ( 奥 ) 430 ( ソーラーパネル含む )
餌 タ ン ク 容 量	6 0 L
餌 投 入 量	2 0 k g ( 1 袋 )
対 象 餌	乾燥粒状餌

メモ

・季節ごとの給餌時間等のメモにお使いください

メモ

# **ダイニチ工業株式会社**

〒 950-1295 新潟県白根市大字北田中 780-6

営業所	住 所	
東京営業所	〒 101-0021 千代田区外神田 2-13-7 ダイニチ神田ビル	TEL 03(3258)3841代
大阪営業所	〒 564-0044 大阪府吹田市南金田 2-6-6	TEL 06(6330)1431代
仙台営業所	〒 984-8651 仙台市若林区卸町 3-1-15	TEL 022(235)8621代
新潟営業所	〒 950-1295 新潟県白根市大字北田中 780-6	TEL 025(362)1140代
高崎営業所	〒 370-0043 群馬県高崎市高関町 345	TEL 027(328)0501代
宇都宮営業所	〒 320-0838 宇都宮市吉野 2-1-12	TEL 028(636)9411代
名古屋営業所	〒 461-0028 名古屋市東区東大曾根町本通 7-789-1 第一生命ビル	TEL 052(721)6671代
広島営業所	〒 731-0137 広島市安佐南区山本 1-4-25	TEL 082(875)8851代
福岡営業所	〒 812-0014 福岡市博多区比恵町 16-24 第六よしみビル	TEL 092(474)0731代

## 修理に関するお問い合わせは

アフターサービスご相談窓口 全国共通のフリーダイヤル TEL 0120-468-110  
FAX 0120-468-220

こんなことで  
お困りのとき

- ・使用方法がよくわからない
- ・お手入れの方法がよくわからない
- ・異常時の対処方法がわからない

受付時間 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日は除く)